

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例	
②学校名	
米原市立河南小学校	
連絡先(0749)54-1019	
③取組分野(複数選択可)	
☒ 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例	
④直面していた課題(取組前の様子)	
本校においては、児童の基礎学力の定着に大きな課題がある。学力向上の取組を全教職員共有のもと実施しているものの、具体的には、各担任に任せられるところが大きかった。 学級会計の打ち込み(保護者宛て会計報告)を今までは各担任が担っており、業務軽減できないかと考えていた。	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体の取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
学力向上の施策の一環として、全学年共通計算プリントに取り組むこととなった。プリントの採点と記録(正答数とタイム)の入力を教員業務支援員が担うこととし、担任にその負担を負わせない工夫をした。正答数とタイムがデータ化できたことで児童の取組傾向や習熟度が見える化することができ、学校として各学年における目標設定がたてやすくなったり、課題のある児童のピックアップにつながったりしている。また、このデータを教職員で共有することにより、教職員の意識が高まり、確実に基礎学力の定着につながっている。 また、昨今、Webフォームを活用したアンケートが増え、保護者には随分浸透してきたが、地域の方にアンケートを取る際は、まだ紙媒体で回答いただくこともある。そこで、教員業務支援員に紙媒体で収集した内容をデータ化してもらうこともあり、業務軽減につながっている。 さらに、各学級の学級会計報告書作成に教員業務支援員が携わっている。各学年からの請求書内容をデータに打ち込み、保護者あて文書の作成の担任業務が軽減された。 <u>取組のポイント</u> ・採点および、校内学力向上検証データの入力を担任ではなく、教員業務支援員が行う。 ・紙媒体で収集したアンケート等のデータ打ち込みを教員業務支援員が行う。 ・各学期末に保護者配布する会計報告のデータ入力を教員業務支援員が担う。	特になし ⑦取組の成果 ・基礎学力の定着に上昇傾向が見られた。 ・採点記録などをデータ化することにより、児童の個別の支援につなげることができた。 ・教職員の業務軽減につながった。 <u>成果のポイント</u> ・検証データの作成の一部を教員業務支援員に担ってもらう。 ・担任でないとできないこと以外の業務であれば、教員業務支援員にまかせる。